

※下書き用紙に表示している内容は平成29年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

平成 29 年度 スカラネット入力下書き用紙

(大学院・法科大学院)

独立行政法人 日本学生支援機構

【用紙①】

本用紙は 12 ページ (A3 サイズ 3 枚) により構成されています。
「奨学金案内」冊子及び【用紙②】より外してご利用ください。

インターネットによる奨学金申込み (スカラネット) にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」(以下「奨学金案内」) を熟読し、申込内容を決めてください。

「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを点検した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。電話番号は保有していない場合を除き、すべての欄に入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」(この画面を印刷するなどして保存しておくことをお勧めします。) が表示されますので、内容を再確認し、送信ボタンを押してください。なお、送信ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

ご提供いただいた情報は、奨学金貸与業務 (返還業務を含む) のために利用され、その他の目的には利用されません。

スカラネット用ホームページアドレス (URL) <http://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8 : 00 ~ 25 : 00 (24 : 00 ~ 25 : 00 は翌日の受付扱い)

※最終締切日の受付時間は 8 : 00 ~ 24 : 00 となります。

受 付 番 号											

入力が完了し送信後、受付番号が画面に表示されます。
必ず記入しておいてください。

文字入力について

(1) 旧字体や複雑な文字の入力

「崎」、「高」、「吉」、「濱」、「桑」、「柳」などの文字は、表示される場合もありますが、システム上受付できません。

該当する文字の新字体「崎」、「高」、「吉」、「浜」、「桑」、「柳」などで入力してください。新字体が無い場合は、カタカナで入力してください。カタカナの「ヲ」は、表示される場合もありますが、システム上受付できません。「ヲ」と入力しても「オ」と読みかえることとなります。

(2) 外国人氏名の入力

①ファーストネームとミドルネームはまとめて入力してください。(例) 奨学 ジョン 太郎 → 奨学 ジョン太郎

②氏名が全てカタカナの場合は、漢字氏名・カナ氏名欄は、全てカタカナで入力してください。これ以外の場合は、前記①(例)のように入力してください。

③漢字氏名の姓・名は各 5 文字、カナ氏名の姓・名は各 15 文字まで入力できます。制限文字数を超える場合は、入力できる文字数まで入力してください。(氏名が途中で途切れても構いません。)

あなたの識別番号

あなたの識別番号 (ユーザ ID とパスワード) を入力して、送信ボタンを押してください。

ユーザ ID

パスワード

パスワードはスカラネット入力時は非表示になります。
入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認するため、最初にユーザ ID 欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

氏 名	学籍番号	研究科の専攻のコード

学校からの指示がある場合のみ記入してください。

確認書の提出

あなた (あなたが未成年 (20 歳未満) の場合は、あなたと親権者または後見人) は、「確認書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名・押印した「確認書」を提出しましたか。

◇貸与申込条件等

◇個人情報情報の取扱いに関する同意条項

※「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報個人情報が個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

○提出しました。

○提出していません。

右のボタンを押して規定等 (保証委託約款を含む) を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。右の「送信」ボタンを押してください。

規定等を表示

送信

「提出していません」を選択した場合はスカラネットの次の画面に進めません。
学校に「確認書」を提出した後、再度、入力し直してください。

規定等の表示を行わないと、次画面へ進むことができません。

規定等を表示すると活性化します。

奨学金学種（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金の貸与を受けたいですか。

[] [▼]

課程を選択してください。

課程：大学院を選択した場合の例

<奨学金学種（学校）の選択>

あなたはどの課程で奨学金の貸与を受けたいですか。 [大学院] [▼]

申込み奨学金 (1), (2), (3) または (4) を選択後、送信ボタンを押してください。

課程を選択すると、申し込み奨学金を選択する画面が表示されます。この「下書き用紙」及び「奨学金案内」では、(2) または (3) を選択した場合について説明しています。

- (1) 予約採用
(a) 国内の大学院への進学予定者
(b) 海外の大学院への進学予定者
(2) 定期採用 (1次又は2次)
(3) 緊急採用・応急採用
(4) 第二種奨学金 (短期留学)

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準日とし、成年判定を行います。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。振込口座の名義は、ここで入力した氏名と同一のものに限り、【奨学金案内】26ページ「文字入力」も参照してください。

氏名に外字、ヲは使用しないでください。(例) 高→高、崎→崎、吉→吉

1/8

A-日本学生支援機構奨学金の案内

- ◆第一種奨学金
◆第二種奨学金

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿
私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「確認書」及び必要な証明書類を提出しました。

誓約日 平成 [] 年 [] 月 [] 日
姓名 (全角漢字) [] []
姓名 (全角カナ) [] []
生年月日 (和暦) [] [] 年 [] 月 [] 日生

和暦 西暦 昭和 63 1988 平成 4 1992
64 1989 5 1993
平成 1 1989 6 1994
2 1990 7 1995
3 1991 8 1996

2/8

C-奨学金申込情報

- 1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。
(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。
(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

【奨学金案内】21ページを参照のうえ、希望する1つを選択してください。

【奨学生採用候補者 (以下「予約採用者」) の方へ】奨学金の種類変更 (第二種→第一種へ、または第一種→第二種へ) を希望する予約採用者は、以下のように入力してください。

(c) 第一種・第二種どちらか一方の予約採用者が、定期採用でさらにもう一方を申込み、併用貸与を希望する場合は、以下のように入力してください。

(8) (9) を選択した人は、必ず入力してください。

奨学生番号 [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
半角数字 (例: 817 06 999999)

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1) ○5万円 ○8万円 ○10万円 ○13万円 ○15万円

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

○はい ○いいえ

(2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(2) 西暦(4桁) 年 月

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) ○はい ○いいえ

(2) はいと答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) ○10万円 ○20万円 ○30万円 ○40万円 ○50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) ○利率固定方式 ○利率見直し方式

法科大学院の人は

(2) 15万円の月額を選択した人のみ増額貸与を希望することができます。あなたは増額貸与を希望しますか。
(2) ○4万円 ○7万円 ○希望しない
(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。と表示されます。

併用貸与を希望した人に表示されます。

併用貸与については、「奨学金案内」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

春の定期採用に申込みする人は、2017年4月～9月のいずれかの月を選択してください。
3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2017年4月を選択してください。

入学時特別増額貸与奨学金は入学した課程において、1回しか受けることができません。
そのためすでに、別の採用の種類で入学時特別増額貸与奨学金を申し込んだことがある場合は、「いいえ」を選んでください。
編入学の人で入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。

返還時の金利の取扱いを選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」6、7ページを参照してください。

「はい」と答えた人は必ず奨学生番号を入力してください。
この欄には貸与が終了したもののみ入力し、現在貸与中のものは、「C-奨学金申込情報」に入力してください。

F-あなたの履歴情報 2で「はい」と答えた人に表示されます。

複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

同一の学校区分で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

3/8

F-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 月 月 ▼ 卒業または退学

2. あなたはこれまで日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与を受けたことがありますか。

2. ○はい ○いいえ

「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。

※貸与を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1 ▼

半角数字	例	奨学生番号 1	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text" value="607"/>	<input type="text" value="04"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="追加"/>
	奨学生番号 2	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text" value="614"/>	<input type="text" value="08"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="追加"/>	
	奨学生番号 3	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text" value="805"/>	<input type="text" value="01"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="追加"/>	
	奨学生番号 4	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text" value="810"/>	<input type="text" value="02"/>	<input type="text" value="999999"/>	<input type="button" value="追加"/>	
	奨学生番号 5	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。

日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。

確認しました

4/8

G-保証制度

1. あなたが選択する保証制度について教えてください。

- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
- (2) 機関保証に加入します。

併願または併用で申し込み（2/8画面C-奨学金申込情報にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7)を選択した場合）、かつ2/8画面E-奨学金貸与額情報にて第一種奨学金の返還方法を所得連動と選択した場合のみ、この画面で保証制度を選択します。

希望する保証制度を選択してください（「奨学金案内」7ページを参照）。

併願：第一種奨学金が不採用の場合、第二種奨学金の貸与を希望すること
併用：第一種奨学金及び第二種奨学金の両方を希望すること。

4/8

G-保証制度

1. 第一種奨学金についてあなたが選択する保証制度について教えてください。

- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
- (2) 機関保証に加入します。

所得連動返還型奨学金制度を希望する場合、保証制度は「機関保証に加入」になります。

2. 第二種奨学金についてあなたが選択する保証制度について教えてください。

- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
- (2) 機関保証に加入します。

2/8画面E-奨学金貸与額情報にて第一種奨学金の返還方法を所得連動と選択した場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証に加入」を選択する必要があります。併願または併用で同時に第二種も申し込む場合、第二種の保証制度は「連帯保証人・保証人を選任」「機関保証に加入」のいずれかから選択することができます。

5/8

H-あなたの返還誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は △△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。 (2) 男 女
- (3) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。

(3) (郵便番号) -

住所1 (自動入力)
住所2 (番地以降)

- (4) あなたの電話番号を記入してください。 (4) - -
- 携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) - -

- (5) メールアドレスをお持ちの方はアドレスを半角60文字以内で記入してください。
- (5)

B-誓約欄で入力した姓名が表示されます。

(3) 住民票に記載されている住所を事前に確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
※ ページ住所の入力例を参照してください。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

2. 連帯保証人・保証人について

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・原則として、父母・兄弟姉妹またはおじ・おば等に入してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人は、連帯保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦) 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所 (d) (郵便番号) -

連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）

(e) その電話番号 (e) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) --

(f) その勤務先と (f)

勤務先電話番号 --

※連帯保証人が無職の場合は、右記にチェックを入力してください。 無職

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人は、保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦) 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所 (d) (郵便番号) -

保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）

(e) その電話番号 (e) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) --

(f) その勤務先と (f)

勤務先電話番号 --

※保証人が無職の場合は、右記にチェックを入力してください。 無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（B-誓約欄で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。

G-保証制度にて「(1)連帯保証人・保証人を選任します。」を選択した場合に表示されます。
【奨学金案内】8、9ページを参照。

注意！連帯保証人・保証人の入力をする前に、必ずその方の承諾を得る必要があります。
ここで入力した連帯保証人及び保証人は、採用されると返還誓約書に印字されます。返還誓約書の提出にあたっては、これらの方の署名・実印押印及び所定の書類が必要となります。返還誓約書や書類に不備があると奨学生の資格を失うこととなります。

(1) 連帯保証人とは
あなたと連帯して返還の責任を負います。あなたが未成年の場合、連帯保証人には必ず親権者（または未成年者後見人）を選任してください。あなたが成年の場合も、原則として父母を選任してください。父母を選任できない特別な事情がある場合は、未成年者を除く兄弟姉妹・おじおば等を選任してください。

(2) 保証人とは
あなたや連帯保証人が返還できなくなった場合、あなたに代わって返還する人です。原則として、**父母を除く4親等以内の成年親族（図を参照）のうちあなたや連帯保証人と別生計の人を選任してください。**また、申込時に65歳未満となる人を選任してください。

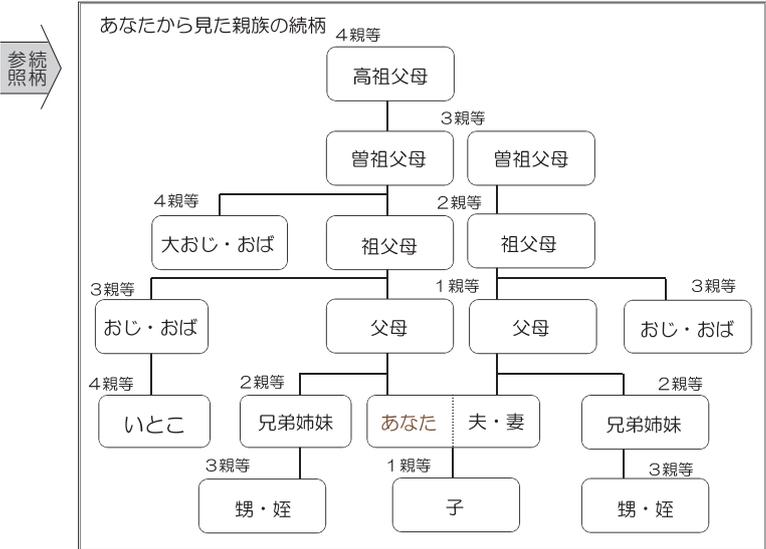
※あなたの配偶者及び未成年や学生等保証能力のない人を連帯保証人・保証人に選任することはできません。

※あなたが貸与終了時に満45歳を超える場合は、連帯保証人や保証人は貸与終了時に満60歳未満の人でなければいけません。

※例外として、4親等以内の親族に該当しない成人を連帯保証人・保証人にする場合、及び65歳以上になる人を保証人に選任する場合は、返還総額の返還を確実に保証できる人を選任してください。この場合、返還誓約書提出の際に認定基準額を満たした「返還保証書」及び資産等に関する証明書の提出が必要となります。なお、これらの人を選任する場合は、スカラネット入力を行う前に、その人が認定基準額を満たしていることを収入・所得や資産等に関する証明書類により確認し、その証明書類を返還誓約書とともに提出する許可を得る必要があります。これらが困難な場合は別人物を選任するか機関保証制度を選択してください。

※連帯保証人・保証人の選任について、わからないことがあれば学校に確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
※7ページ住所の入力例を参照してください。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。



4親等以内の親族とは、「4親等内の血族、配偶者、3親等内の姻族」を指し、おじ・おば・いとこ等のことです。

注意！
連帯保証人・保証人の入力をする前に、必ずその方の承諾を得る必要があります。

連帯保証人や保証人の続柄が適切でないと考えた場合は、エラー表示となり次の画面に進めません。その場合は一旦入力を中断し、学校に相談してください。

3. 本人以外の連絡先について

(1) その氏名

姓 名

(1) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(2) その生年月日

(2) (和暦) 年 月 日生

(3)

(4) その住所

(4) (郵便番号) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)

(5) その電話番号

(5) - -

その携帯電話の電話番号 (携帯) - -

G-保証制度にて「(2) 機関保証に加入します。」を選択した場合に表示されます。
[奨学金案内] 7、8ページを参照。

機関保証に加入する人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

注意！「本人以外の連絡先」の入力をする前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うことになります。

住所の入力例

(郵便番号) - ←押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力)

- 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降)

注意！

- ※番地以降を入力してください。入力漏れがあると次の画面に進めません。なお、番地以降のない住所は、住所 2 欄に全角で「. (ピリオド)」を入力してください。
- ※マンション・アパートの名称にローマ数字 (I・II・IIIなど) は使用できません。算用数字 (1・2・3など) を入力してください。
- ※住所 2 欄には、住所 1 欄の表示部分を入力しないでください。上記例の場合、住所 1 欄で「1 丁目」を選択し、住所 2 欄に誤って「1 丁目 99-9 ……」と入力した場合、届出内容は「1 丁目 1 丁目 99-9 ……」となります。

- ・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所 1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 1」に表示された住所以降を「住所 2」に入力してください。※左記住所の入力例を参照してください。
- ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

奨学金の貸与を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には、振込口座情報が必要です。通帳のコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

8/8

L-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. ○銀行等 ○ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

- (1) 右のボタンを押して金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1) ▼
- (2) 金融機関名を選択してください。 (2) ▼
- (3) 右のボタンを押して支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3) ▼
- (4) 支店名を選択してください。 (4) ▼

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。

確認用

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

3. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

2. 記号-番号 記号 - 番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用 記号 - 番号

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

3. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

口座名義人欄の入力について

※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。

※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。

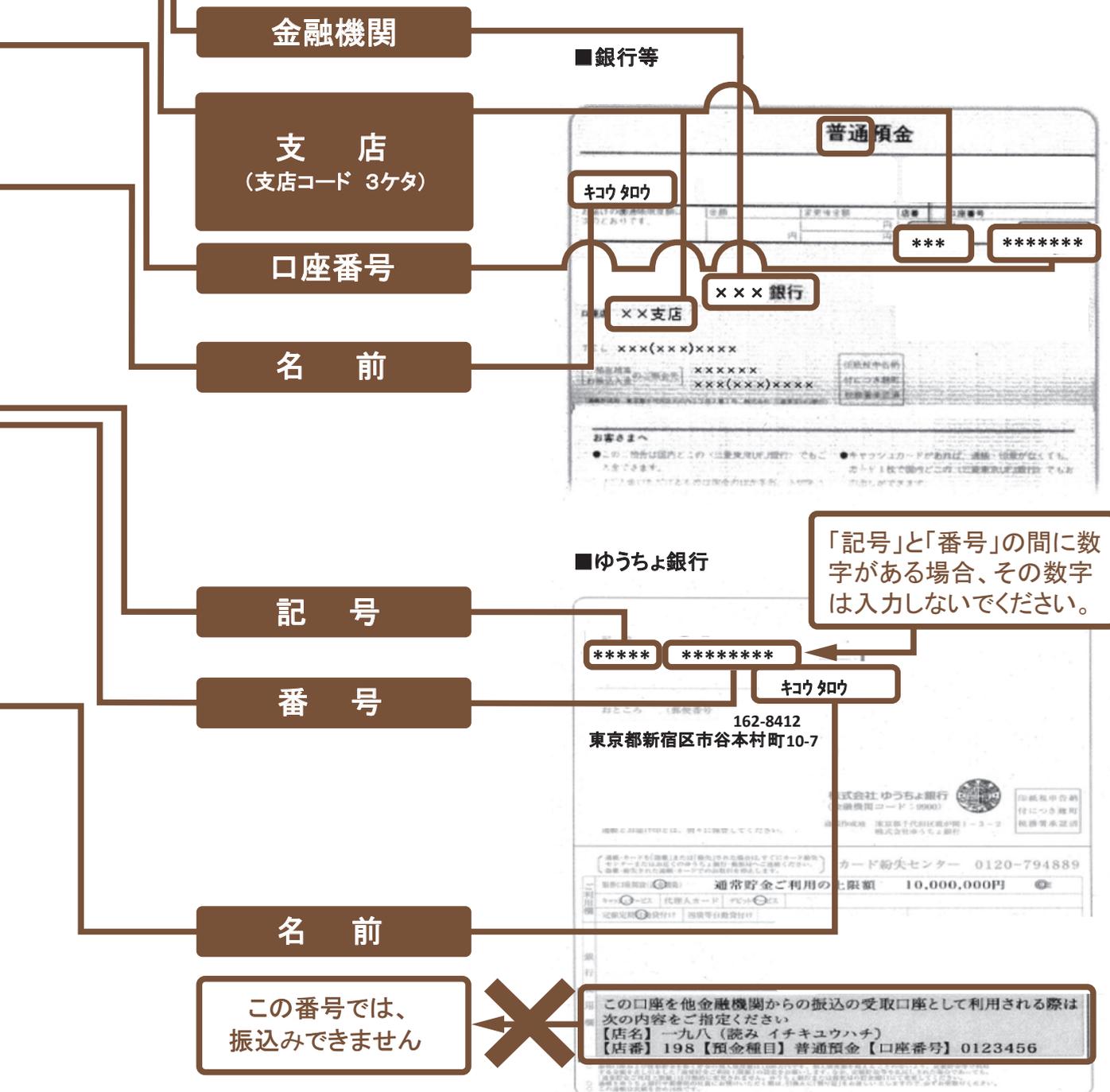
※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』と『名前』をスペースなしで入力してください。

※ 通帳コピーの貼付・提出方法については、
学校の指示に従ってください。

チェック	奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です！
① <input type="checkbox"/>	学生本人の預・貯金口座ですか。
② <input type="checkbox"/>	銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③ <input type="checkbox"/>	誓約欄と通帳の名前（カナ）が同じですか。
④ <input type="checkbox"/>	金融機関名および口座番号と支店名（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号と番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいですか。※1
⑤ <input type="checkbox"/>	この通帳は、1年以内に記帳できましたか。（＝休眠口座になっていない）
⑥ <input type="checkbox"/>	信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、新銀行東京、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

※2 一部の信用組合は、振込みできません。



貼り付け【通帳の見開きの1ページ目などのコピー（A4サイズ）】

□-緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つ選択してください。

(注) (5) ~ (8)、(10) ~ (12) までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したもの。

(15) は家計支持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

- (1) 家計支持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
- (2) 家計支持者が死亡したため。
- (3) 家計支持者が離別したため。
- (4) 家計支持者が破産したため。
- (5) 病気
- (6) 事故
- (7) 会社倒産
- (8) 経営不振
- (9) その他家計支持者の給与収入が激減したこと等によるため。
- (10) 火災
- (11) 風水害
- (12) 震災
- (13) 災害救助適用者であるため。
- (14) 学校廃止
- (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。

2. 西暦(4桁) 年 月

3. 緊急採用(第一種)奨学金を申込み人のみ、希望する貸与始期を記入してください。

3. 西暦(4桁) 年 月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

- (1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
- (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
(年間の支出金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。)
- (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。

(家屋・家財復旧費、医療費等)

	事由	金額
これまでに	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円
	(例: 台風による家屋の損壊)	
	全角10文字以内	
これから	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円

(注)
この情報欄は、申込画面においては7/8画面の「K-家庭事情情報」欄の後に表示されます。
緊急・応急採用の申込者のみ記入してください。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月(申込みから12か月以内、入学した月を限度として遡及可)以降を選択してください。
休学、留年(休学等の学籍異動のため同一学年を引き続き再履修している人を除く)、留学に相当する間を貸与始期にすることはできません。

上記1.(家計急変の事由)で(1)~(4)、(7)~(9)を選択した人は(1)を選択してください。(5)~(6)、(10)~(12)を選択した人は(2)を選択し、A欄を記入してください。(13)~(15)を選択した人は(3)を選択しA欄を記入してください。

病気・事故・火災・風水害・震災により生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、学校の指示に従い認定を受け、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの支出見込額を入力してください。

記入内容を点検しましょう!

- 氏名は本名で記入しましたか?
- 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか?
- 収入金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか?
- 座番号を正確に記入しましたか?